

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	ピアノ実技Ⅱ（応用）						授業形態		実技	
科目コード	750173	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子								ICT活 用	
授業概要	この授業は、弾き歌いや簡易伴奏の実践を通し、子どもが楽しく意欲的に活動できるような弾き歌い技能の習得を目的とする。 保育現場では、臨機応変に様々な音楽に伴奏づけをすることが求められる。子ども達の豊かな音楽活動を支えるために、多様な歌唱曲を用い、主要三和音を中心とした和音記号とコードネームの理解に基づいた簡易伴奏法の基礎的技能を身につける。									
関連する科目	事前に「音楽」を受講し、楽典やソルフェージュの学習によって楽譜の読み方が分かり、視唱・視奏などの実践が容易にできるようになっていることが望ましい。また、「ピアノ実技Ⅰ（基礎）」の受講を通して、ピアノ奏法の基礎技能を身につけていることが望ましい。									
授業の進め方 と方法	受講者は、各レッスン室で個人指導を受け、順番を待つ間は音楽室の電子ピアノで自主練習を行う。									
授業計画 【第1回】	課題曲のレッスン 音楽理論の理解を促し、演奏に必要な技術や知識を学ぶ									
授業計画 【第2回】	4月の歌唱曲 楽譜を分析し、リズムやメロディーの特徴を学ぶ									
授業計画 【第3回】	5月の歌唱曲 和声進行や調性などを把握する									
授業計画 【第4回】	6月の歌唱曲 指の運動性を高めるための練習を行う									
授業計画 【第5回】	7月の歌唱曲 タッチの種類を変えることで曲の表現力を豊かにする練習を行う									
授業計画 【第6回】	8月の歌唱曲 ダイナミクスやフォルテ、ピアノなどの強弱表現の練習を行い曲の表現力を高める									
授業計画 【第7回】	9月の歌唱曲 フレーズや音色の変化などを練習し、曲の深い感情を表現する									
授業計画 【第8回】	10月の歌唱曲 弾き歌いを通して曲の全体像を把握する									
授業計画 【第9回】	11月の歌唱曲 基本的なコード進行や伴奏パターン、リズムを練習する									
授業計画 【第10回】	12月の歌唱曲 歌唱力を向上させるために、音程やリズムを意識しながら歌唱練習を行う									

授業計画 【第11回】	1月の歌唱曲 ピアノ演奏と歌唱を同時に行うことで、歌唱力だけでなく、音楽的な表現力も向上させる
授業計画 【第12回】	2月の歌唱曲 レパートリーを増やして、幅広い音楽的な表現力を身につける
授業計画 【第13回】	3月の歌唱曲 歌唱曲のアレンジを通して自己表現を深める
授業計画 【第14回】	試験曲の練習 試験曲を通して、その曲が持つ歴史的・文化的背景や作者の意図を理解し、より深い表現力を追求する
授業計画 【第15回】	試験曲リハーサル 試験曲の演奏に必要な様々な要素を習得し、より高度な演奏技術と表現力を身につける
授業の到達目標	1. 発達段階に応じた歌唱曲の伴奏技術を習得する。 2. 主要三和音のコードフォームを身につけ、コード奏による簡易伴奏ができるようになる。 3. 人前で弾き歌いをすることに慣れる。 * 授業での十分な実践と自主練習を通し、着実かつ確実に習得する
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	ピアノレッスンは、十分な自主練習(予習)を行って臨んでいることが前提となる。日々の練習の積み重ねが、上達の鍵となる。わずかな時間でも日々ピアノに向き合い、練習に努めること。(合計2時間半程度：1日20～30分)
授業時間外学習【復習】	レッスン後、速やかに自主練習を行い、レッスンで指摘された部分については特に重点的に練習し改善を図る。次のレッスンまで、時間を見つけてコツコツと自主練習に励むこと。(予習も兼ねて合計2時間半程度：1日20～30分)
課題に対する フィードバック	マンツーマンの個人レッスンを通して、一人ひとりの習熟度に応じた指導を行います。
評価方法・基準	受講態度：40%、自主練習の有無：30%、実技試験：30%
テキスト	大石みつ・下村幸・鳥居美智子『幼児保育のための楽しい歌とあそび』（音楽之友社）
参考書	全国大学音楽教育学会 九州地区学会 編 『ピアノテキスト』（カワイ出版）
備考	授業時間は「2時間」で、開始および終了時間にはレッスン室に集合し担当教員の指示を受ける。 複数の専門教員が担当します。